

おはなし トレイン



3・4年生



『小さい水の精』

オトフリード・プロイスラー/作
ウィニー・ガイラー/絵
はたさわ ゆうこ/訳
徳間書店

池の底にくらしている水の精の夫婦に子どもが生まれました。指の間に水かきがついている水の精の子どもですから、小さくても泳ぎ上手。じっとなっていていられません。水車をすべり台にしたり、人間の子とも友達になったり、コイのせなかにのって遊んだり、毎日がとても大きいそがし！ 小さな水の精といっしょに楽しい夏をすごしませんか？

1・2年生

『ちいさなたいこ』



まつおか きょうこ
松岡 享子/さく
あきの ふく
秋野 不矩/え
ふくいんかんしよてん
福音館書店

心のやさしい年とったふうふが、少しばかりのはたけを作ってくらしていました。ある年の夏、ひととき大きなかぼちゃができて、ふたりは大よろこびします。ところが毎ばん同じ時こくになると、このかぼちゃの中からまつりばやしが聞こえてくるようです。おじいさんとおばあさんの見た、小さなふしぎなせかいをいっしょにのぞいてみませんか。

5・6年生



『ガリバーのおすこ』

マイケル・モーパーゴ/作
すぎた ななえ/やく
杉田 七重/訳
しょうがくかん
小学館

「夢なんかじゃない」。大嵐の夜、ボートから投げ出されたオマール。目覚めると砂浜には小さい人たちがいて、自分の手のひらにも乗っていたのです。着いたのは、小人の国リリパットでした。300年ほど前、ガリバーも来たというこの国で、オマールの思いもかけない活躍が始まります。そこには古典の空想小説と現在が混じり合う、心おどる冒険が待っていました。



『なつのゆきだるま』

ジーン・ジオン/文
 マーガレット・ブロイ・グレアム/絵
 ふしみ みさを/訳
 いわなみしよてん
 岩波書店

冬のさいごにふった雪で、ヘンリーとお兄さんは、ちいさな雪だるまを作りました。月が雪だるまをとかしてしまうのではないかとしんぱいで、なき出したヘンリー。夜にこっそりベッドをぬけ出し、雪だるまをそりではこび、家に入れました。やがて夏になり、ある日ヘンリーはいいことを思いつきました。さあ、何がはじまるのでしょうか。

『だれもしらない
ちい いえ
小さな家』

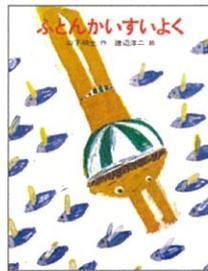
エリナー・クライマー/作
 こみや ゆう やく
 小宮 由/訳
 さたけ みほ え
 佐竹 美保/絵
 いわなみしよてん
 岩波書店

大きなマンションにはさまれた小さな家には、だれもすんでいません。何しろとても小さいので、だれでもすすめるわけではないのです。ほこりだらけのその家をアリスとジェーンはきれいにして「おうちごっこ」につかうことにしました。おや？ まどからのぞいている人がいますが、一体だれでしょう。実はとてもすてきなこのお家。すんでくれる人は見つかるのでしょうか？

『うみべのおはなし
3にんぐみ』

ジェームズ・マーシャル/さく
 こみや ゆう
 小宮 由/やく
 だいにっぽんとしよ
 大日本図書

すなはまでピクニックをしていたローリーとスパイダーとサム。ひと休みしている間、ローリーが自分で作ったおはなしを聞かせてくれました。でもなんだかもの足りないなと思ったふたりは、自分でもおはなしを作ってみることにしました。さて、どんなおはなしができたのでしょうか。なかよしな3人組の本は、このほかに2さつ出ています。



『ふとんかいすいよく』

やました はる お さく
 山下 明生/作
 わたなべ ようじ え
 渡辺 洋二/絵
 しよぼう
 あかね書房

夏休みの間カズくんは耳だれで、およぐことができません。くやしがるカズくんのために、とうちゃんはへやいちめんふとんをしきました。ふとんかいすいよくじょうです。しっかりおよぎのとつくんをしたあとは、かいぞくになりきってあそびます。つぎは何をしてあそぼうかな？ がまんの夏休みが、とうちゃんアイデアで楽しい時間にかわります。



ほん
『本おじさんの
としょかん
まちかど図書館』

ウマ・クリシュナズワミー/作
ながとも けいこ やく
長友 恵子/訳
かわはら みずまる え
川原 瑞丸/絵
フレーベル館

インドに住むヤズミンは本が大好き。学校帰りに、本おじさんのまちかど図書館で本を借りることを、とても楽しみにしています。ところが、だれかの出した手紙のせいで、図書館は続けられなくなってしまいました。クラスで話し合い、「図書館を取りもどそう」と立ち上がるヤズミンたちにヒントをくれたのは、本おじさんから借りた1冊の本でした。



やね
『屋根のうえの
バトンリレー』

にほんでいちばんみなみにあるかやぶきの家
よこつか まこと しゃしん ぶん
横塚 真己人/写真と文
ほるぷ出版

おきなわけん いりおもてしま けんない いちばんふるや
沖縄県の西表島には、県内で一番古いかやぶき屋根の家があります。今はだれも住んでいませんが、6～10年に一度、いたんだ屋根をなおします。専門の職人ではなく、村の大人や子ども、みんなで行います。しかも150年以上前からずっとそうしているのです。どうすればそのようなことができるのでしょうか。文化や歴史について考えてみたくなる本です。



とうげんきょう
『桃源郷ものがたり』

とう えんめい げんさく
陶 淵明/原作
まつい ただし ぶん
松居 直/文
さい こう え
蔡 皋/絵
ふくいんかんしよてん
福音館書店

ひとりのまずしい漁師が魚をたくさんとろうと、ふねをこいで川をどんどんさかのぼって行きました。すると、ももの花がさきみだれる、見たこともない場所へとたどりつきました。さらにそこからふねをおりてほらあなを進むと、その先にあったのは……。中国のおはなし『桃花源記』を元にかかれた絵本です。幻想的な美しい絵もじっくり楽しんでください。



『ポリーと
はらぺこオオカミ』

キャサリン・ストー/作
かけがわ やすこ やく
掛川 恭子/訳
いわなみしよてん
岩波書店

「さあ、ポリー、おまえをくってやるぞ!」。おなかをすかせたオオカミは、いつもポリーを食べようとねらっています。『赤ずきん』や『七ひきの子ヤギ』のオオカミのまねをして、なんとかポリーを食べようとします。ですが、そこはかしこいポリー。オオカミに食べられないように頭をひねります。さて、今日もまたポリーはにげ切れるのでしょうか。



ほし
『星ぼしでめぐる
ギリシア神話』
しんわ

もも ゆりこ ちよ
百々 佑利子/著
はなまつ 花松 あゆみ/絵
いわなみしよてん 岩波書店

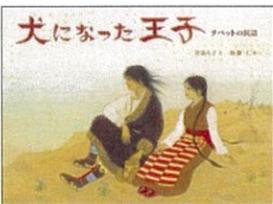
えいゆう 英雄ヘラクレスや、び めがみ 美の女神アプロディテ。ギリシア神話に登場する神や英雄は、ゲームやコミックにも登場するので、名前を聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか？ 約3000年前に詩人たちによって語られた神々のお話は、星座と結びつけられ、時を超えて語りつがれています。星座にこめられた物語を知れば、もっと星空を楽しめるようになりますよ。



ぞう し
『ふしぎ草子』
あやしきもふしぎな八つの物語

とみやす りょうこ さく
富安 陽子/作
やまむら こうじ え
山村 浩二/絵
しょうがくかん 小学館

こうえん 公園で健太がサッカーボールをけると、だれかが霧の向こうからけり返してきました。何度けっても、もどってきます。健太がこわくなって帰ろうとすると、霧の中からあやしいものたちの行列が現れたのです(「霧の町」)。「魔女の家」「よらず池」など、ゾクゾクとする8つの物語を集めた短編集です。始めから読んで、気になる話から読んで楽しめます。



いぬ おうじ
『犬になった王子』
チベットの民話

きみしま ひさこ ぶん
君島 久子/文
ごとう じん え
後藤 仁/絵
いわなみしよてん 岩波書店

おお 大むかし、チベットのプラ国では、食べ物といえばヤクや羊の乳と肉しかありませんでした。そこで王子のアチョは、山の神から穀物のタネをもらおうと、厳しく危険な旅に出かけます。ところが、やっとたどり着いた神のところにもタネはなく、王子はさらに厳しい試練に立ち向かうことになったのです。美しい絵で描かれた、優しい王子の勇気あふれる物語です。



てがみ
『手紙』 ふたりの奇跡

ふくだ たかひろ ちよ
福田 隆浩/著
えがしら みちこ/装画
こうだんしゃ 講談社

「わたしには、どうしても知りたいたいことがあります」。長崎に住む耕治のもとに、突然届いた1通の手紙。それは遠くはなれた秋田に住む穂乃香からのものでした。20年前、亡き母に起きた奇跡のような出来事を明らかにするため、穂乃香は耕治に協力をあおいだのでした。遠くはなれたふたりの手紙のやりとりを通じて、謎解きが今、始まります。